

令和6年度3R促進ポスターコンクール入賞作品



最優秀賞

小学生低学年の部



愛知県 大府市立 共和西小学校 1年  
松井 工さん

資源のリサイクルに関して得た知識を元に、日常の取り組みをテーマとして斬新な構図で表現している点に好感が持てた。ポスターとしての説得力の高さを評価した。

小学生中学年の部



熊本県 八代市立 太田郷小学校 4年  
岩本 紘武さん

自らの掌を押形として使用するという大胆なアプローチと、高度なテクニックを用いた塗分け、さらにそこから導き出されるメッセージ性の高さを評価した。

小学生高学年の部



愛知県 刈谷市立 住吉小学校 6年  
松田 永羽さん

新幹線という身近にある事例をテーマとして掲げ、分かりやすく表現している点に好感が持てた。構図とともにキャッチコピーのセンスも秀逸で、ポスターとしての高い完成度を評価した。

中学生の部



愛知県 半田市立 乙川中学校 3年  
近藤 杏奈さん

「時」を「トキ」に置き換え、擬人化した温かみのある表現で分かりやすくアピールしている。各色の組み合わせもバランスが良く、ポスターとしての完成度の高さを評価した。

10月は3R推進月間です。

埼玉から未来へ！ サーキュラーエコノミーで育む地域の力



埼玉県環境整備センター(寄居町)

in 埼玉

# 第18回 3R推進全国大会

令和6年 10/24 木 13:00 開演 (受付開始 12:15)

会場 ▶ さいたま市プラザノース ホール 埼玉県さいたま市北区宮原町1-852-1

主催 ▶ 第18回3R推進全国大会実行委員会

(環境省、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、3R・資源循環推進フォーラム)

お問い合わせ先 ▶ 実行委員会事務局 ((公財) 廃棄物・3R研究財団内) TEL: 03-6908-7311



リデュース・リユース・リサイクル



大会プログラム

第Ⅰ部 13:00▶14:00 **大会式典**  
 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰  
 3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

第Ⅱ部 14:00▶17:00 **記念シンポジウム**  
 サーキュラーエコノミーによる地域活性化と質の高い暮らしの実現に向けて  
 ～目指すべき循環型社会の将来像～

**基調講演** 「サーキュラーエコノミーの達成に向けた各主体の役割」  
**講演者** 3R・資源循環推進フォーラム会長、東海大学副学長・政治経済学部経済学科教授、慶應義塾大学名誉教授、中部大学名誉教授 細田 衛士 氏

**特別講演** 「埼玉県が目指すサーキュラーエコノミー」  
 ～持続的な発展に向けた環境と経済の両立～  
**講演者** 埼玉県知事 大野 元裕 氏

**事例報告** 「浦和レッズSDGs サーキュラーエコノミーへの取組」  
**講演者** 浦和レッドダイヤモンズ株式会社 コーポレート本部スタジアム運営担当 早川 拓海 氏

**パネルディスカッション** 「地域におけるサーキュラーエコノミーの推進と実践」  
 ～持続可能な未来への道筋～

**コーディネーター** 3R・資源循環推進フォーラム副会長、ジャーナリスト、環境カウンセラー、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会会長 崎田 裕子 氏

**パネリスト**  
 ●大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 環境ビジネス推進部 部長 西村 知子 氏  
 ●株式会社木下フレンド 代表取締役社長 木下 公次 氏  
 ●株式会社ECOMMIT 取締役CSO 坂野 晶 氏  
 ●国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域資源循環社会システム研究室 室長 田崎 智宏 氏

表彰者のご紹介（順不同・敬称略）

**3R活動優良企業（企業）**

**ウム・ヴェルト株式会社**  
 食品企業の製造工場から廃棄された食品ロスを回収し、提携リサイクル施設で飼料や肥料に加工。平成26年には農業生産法人を設立し、リサイクル肥料を使用した農産物の生産を開始。平成30年には養豚業を開始し、食品残渣を給餌した豚を生産・出荷する等、6次産業+リサイクルを融合させた「食品リサイクルループ」を実現することで、独自の7次産業化を目指す。また汚れが付着した廃プラスチックのポリ袋も、石炭の代替燃料となる独自の「燃料化リサイクル」を行いCO<sub>2</sub>の削減に貢献。更に収集運搬においても計量器付き大型車両で高効率なルート回収を行い、燃料使用量と併せてCO<sub>2</sub>排出量も削減し、脱炭素社会への貢献に向けて取り組んでいる。

**株式会社新菱**  
 太陽光パネルの大量廃棄時代を見据え、平成22年からNEDO、環境省実証事業で研究開発を行い、独自の熱分解方式と高度選別の組み合わせによる高度リサイクル技術を開発。令和5年にはリサイクルプラントを設置し、事業を開始。アルミ枠、ガラス板、銅線、シリコンセル等を回収し、廃棄物ゼロを実現、ガラスは板ガラス、アルミ、銅、銀等の金属は精錬用原料として用途開発を行い、資源循環に貢献している。また、廃棄パネルのうち使用可能なパネルのリユースへの取り組みを推進している。

**株式会社キューヘン**  
 柱上変圧器の修理又は廃棄時に発生する使用済み絶縁油の再生処理技術開発を平成28年から開始し、令和3年には事業化。再度絶縁油として使用するための低負荷・低コストなリサイクルシステムを構築し、福岡県のみならず九州全域から回収している。令和5年度までの実績は約1,500キロリットルとなり、約27,000台の柱上変圧器にリサイクル絶縁油を適用している。

**北九州環境プラントサービス株式会社**  
**豊田環境サービス株式会社**  
**株式会社エコクリエイト大阪**

3社は、平成16年以降、中間貯蔵・環境安全事業株式会社が設置する北九州、豊田、大阪の各PCB処理事業所において、処理施設を運転管理し、高濃度PCB廃棄物の処理を行った。その処理方式は、商用のものとしてはいずれも日本初のものであり、様々な困難があったが、安全な操業と廃棄物の確実な処理を見事に達成した。3社での高濃度PCB廃棄物の処理量は、変圧器で約8千台、コンデンサーで約22万台、安定器等で約1万トンと大量であり、3社の存在なくして処理完了は成しえなかった。

関連イベント

**3R推進展示コーナー 10/24 木** 12:00～18:30  
 さいたま市プラザノース2階 多目的ルーム

- 令和6年度3R促進ポスターコンクール最優秀賞作品展示コーナー  
 （※この作品はホール前に展示します）
- 循環型社会形成に関連する先進的な取組の展示コーナー

環境省、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、3R・資源循環推進フォーラム、(公財)廃棄物・3R研究財団、大日本印刷(株)、(株)木下フレンド、(株)ECOMMIT、オリックス資源循環(株)、ウム・ヴェルト(株)、3R推進団体連絡会(容器包装リサイクル法関連8団体)、(NPO)持続可能な社会をつくる元気ネット、全国容器循環協議会、(公社)食品容器環境美化協会、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、(株)パイロットコーポレーション、アミアズ(株)、クリエイトラボ、(公財)東京都環境公社、天城屋(株)、明治安田生命保険相互会社、(公財)埼玉県産業振興公社、(株)ティービーエム、ケイワート・サイエンス(株)、新和環境(株)、日榮新化(株)、(株)ショーモン、東武商事(株)、(株)吉川油脂、久保井塗装(株)、新井紙材(株)、三郷市

- イグナイトステージ（参加者交流のための特設ステージ）17:15～18:30  
 17:15～17:25 (公財)埼玉県産業振興公社 サーキュラーエコノミー推進センター埼玉  
 17:25～17:35 (公財)東京都環境公社環境共生部 東京サーキュラーエコノミー推進センター  
 17:35～17:45 (株)DNPエスピーイノベーション  
 17:45～17:55 (株)ティービーエム  
 17:55～18:05 (公社)食品容器環境美化協会  
 18:05～18:15 天城屋(株)

関連イベント

**施設見学会 10/25 金** 9:00～12:35  
 埼玉県環境整備センター（寄居町）内の施設

- Aコース**
  - オリックス資源循環株式会社 廃棄物系バイオマスによる国内最大規模の乾式メタン発酵バイオガス発電施設を視察します。
  - ツネイシカムテックス株式会社 焼却灰の焼成処理による無害化と人工砂へのリサイクルを行う施設を視察します。
- Bコース**
  - 株式会社エコ計画 24品目に及ぶ廃棄物を受け入れ、再利用率95%を目指す総合リサイクル施設を視察します。
  - 株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン 廃蛍光管や県内初の廃太陽光パネル等のリサイクル施設を視察します。

**事前申込制 先着順**  
 ※全国大会参加申込者に限ります。